

報告

## 「難聴予防セミナー」

多くの方に会社や店舗を知っていただくためにもこのような場を設けて市民の皆様と交流し、思いを伝え合うことはとても重要と考えております。その模様をご覧ください。

### 聞こえを取り戻していく お手伝いを

補聴器のラビット店長の三井さんは今講座について次のようにおっしゃっています。

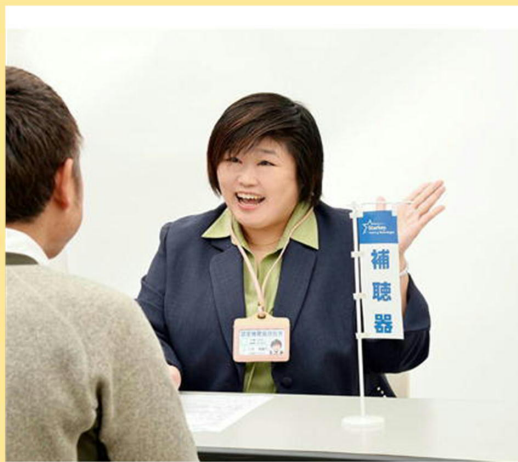
「ご来店された方が『自分の友達が受講してよかったって言っていたよ』と教えていただき、図書館というみなさんが足を運びやすい場でお話をできてよかったです。少しも正しい知識で聞こえを取り戻していただけるとうれしいです。」

その一方で、まだまだ聴力や難聴に関して理解を得られていないと難しい状況でもあります。「初めてのご来店時には暗く固い顔をしていた方が、少しずつ聞こえを取り戻していくにつれて、明るい顔になり笑顔がこぼれてくると嬉しくなります。その顔を見たくて日々努力をしております」と三井さんは日々鍛錬を続けております。

「補聴器なら『ラビット』と言っていただけのような存在を自指して頑張ります」と前を見据える姿がより多くの方に知れ渡ってほしいと願います。

### 難聴予防セミナー スタッフ紹介

今回のセミナーを担当されたのは補聴器のラビット店長の三井たまみさんです。来ていただいた方と真剣に、それでいて楽しく向き合っていました。人生百年時代と言われ、身体の健康に対する重要性は増すばかりです。耳についての知識をもっともっとお伝えして欲しいと思います。



▲補聴器のラビット店長：三井 たまみさん



### セミナーの様子

#### 初日から申し込み殺到

日々の経営で高めた製品や技術を市民の皆様にお伝えしていくこの機会。今回は難聴予防セミナーです。1月22、26、29日に狭山台図書館で開催されました。

今回のセミナーは募集開始初日から申し込みが続き、中には水野地域から当館にお越しいただいた方もおられ、関心の高さが伺えました。

実際に講座が始まるとみなさん熱心にお話を聞かれ、途中で質問がかわされることもありました。

中にはすでに補聴器を持っておられ、実物がきちんと合っているか確認する方もおられました。「自分の聴覚について理解を深められた」、年を取ったから聴こえないのは当たり前と思っていたが、ちゃんとフォローしていただくのが大切だと分かった、「母にすすめたくて参加した。補聴器のことをよく知ることが母にすめやすくなった」といった声もいただきました。

### 展示資料の紹介

今回の展示にあたって、関連資料をいくつか展示しました。その中から一部を紹介します。ご関心がありましたら図書館にお問い合わせください。

『耳がよく聞こえる！ ようになる本』 496.6 ナ

中川 雅文/著 河出書房新社

『よい聞こえのために』 496.6 工

C.エルバリング/著 海文堂出版

『聞こえているのに聞き取れない APD 聴覚情報処理障害がラクになる本』 496.6 ヒ

平野 浩二/著 あさ出版